

被爆
80
年

連合 2025

「連合 2025 平和行動 in 長崎」派遣団報告(8月8日～10日)

平和ナガサキ集会

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～



【挨拶する 芳野会長】

8月8日、「連合 2025 平和ナガサキ集会」が長崎県立総合体育館メインアリーナを会場に開催された。連合福島からは菊地克明(東白川地区連合 議長)を団長に 15 名が参加した。今年は原爆 80 年の節目を迎える中、ロシアのウクライナ侵攻に伴う核の威嚇や北朝鮮による核実験など、核兵器を巡る脅威は一向に収まる気配を見せない。そのような中、芳野友子連合会長は挨拶で「唯一の戦争被爆国として、核軍縮と核不拡散の強化に向けた外交努力を続けるよう政府に求めている」とした。そして、参加者全員が原爆被害の悲惨さと核兵器廃絶と世界の恒久平和を願い、思いを新たにした。

長崎原爆資料館視察 ～11時02分～

8月9日、80年前のこの日に長崎市に原爆が投下された。その日は、朝から空襲警報が断続的に鳴り響き、多くの市民が防空壕に避難していた。やがて警報が解除となり、昼食の準備など普段の生活に戻りかけていたその矢先に爆心地の上空500mで大きな爆発が起こった。原爆資料館には当時の写真や遺品など多くの資料が展示されている。目を覆いたくなる展示物もあるが、一団は視察を行い改めて当時の悲惨な状況を感じ、平和の大切さを学んだ。



【長崎市に投下された原爆】



【11時02分で止まる時計】

平和公演 ～犠牲者を偲び、鐘響く～

天を指す右手は原爆の脅威を示し、水平に伸びた左手は平和を、閉じた瞼は戦争犠牲者の冥福を祈る姿を表している。日本で一番有名な平和像を訪れた。ここに着くまでに公園の中を数百メートル歩いてきたが、途中に多くの献花や折り鶴が供えられていた。そして、平和の鐘の音が何度も鳴り響いていた。大変暑い中での行動で、苦労もあったが、多くの仲間と参加し平和について考えさせられるこの行動は意味あるものであった。お世話になった関係者に感謝を申し上げ報告に代えさせていただく。平和を永久に。



【派遣団15名 平和祈念像前】